

岩手県金融経済概況（2024年11月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内の動きとなっている。設備投資は、減少している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内の動きとなっている。

先行指標である公共工事請負金額（2024年11月）は、3ヵ月振りに前年を下回った（前年比▲31.2%）。

設備投資は、減少している。

2024年12月短観（岩手県）における2024年度の設備投資計画をみると、案件の一巡や慎重な需要見通し等から、製造業と非製造業がともに前年度を下回っており、全産業では前年度を▲20.2%下回っている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2024年10月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比▲7.9%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2024年10月）は、3ヵ月振りに前年を下回った（同▲2.8%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2024年11月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（同▲7.8%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2024年10月）は、6ヵ月振りに前年を上回った（前年比+18.7%）。内訳をみると、貸家（同▲43.0%）が前年を下回ったものの、持家（同+25.2%）、分譲（同5.1倍）が前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、緩やかに持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2024年9月）は、4ヵ月振りに前月を上回った（前月比+4.1%）。主な業種の指数をみると、食料品等が低下した一方、生産用機械、輸送機械等が上昇した。

四半期の動きをみると、2024/7～9月は3期振りに低下した（2024/1～3月：前期比+5.4%、4～6月：同+9.6%、7～9月：同▲5.4%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2024年10月）は、1.18倍と、前月から低下した（2024年9月：1.20倍）。

雇用者所得（県内合計値：2024年9月）は、名目賃金指数（前年比+0.8%）と常用雇用指数（同+1.4%）がいずれも前年を上回ったことから、9ヵ月連続で前年を上回った（同+2.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2024年11月）は、引き続き前年を上回った（前年比+2.7%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2024年11月）は、8件、負債総額977百万円となった（前年同月は7件、負債総額2,093百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2024年10月）をみると、預金が前年を下回った一方、貸出が前年を上回った。貸出約定平均金利（2024年10月）は緩やかに上昇している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

